

先生方へ 最初にお読みください

【このコンテンツのねらい】

中学生・高校生の間でケータイ・スマートフォン（スマホ）の普及率は急激に高くなっており、同時にケータイ・スマホが関係するトラブルも増加しています。特に LINE®は、とても便利なコミュニケーションツールであるにもかかわらず、使用方法や利用上の配慮点を周知徹底するよりも先に中学生・高校生に普及し、さまざまなトラブルの種となってしまいました。LINE はスマホだけでなく、iPod touch®や一部のウォークマン®のような音楽プレーヤーからも使えることに注意すべきです。

このコンテンツは、ケータイ・スマホの賢い利用方法、特にスマホの普及に伴い利用率が高まっている LINE との付き合い方について考え、話し合うための映像コンテンツです。決して全員がケータイ・スマホを持ち全員が LINE を利用することを勧めるものではありません。また、ケータイ・スマホの使用時間や使用場所を制限するだけで問題を解決する、というものでもありません。

【目的と内容】

このコンテンツでは、ケータイ・スマホの普及率が 100%ではない状況、仲間にケータイ・スマホを所持していても LINE は使用していない人や LINE で友だちになっていない人があるなどの状況、学校内ではケータイ・スマホは持ち込み禁止または電源を切り使用禁止の状況を踏まえています。ここでのキーワードはリアルとバーチャル（現実の友達関係と LINE 上での「友だち」関係）の「ギャップ」と、相手に対する「思いやり」です。具体的には、以下の構成になっています。

オープニング	タイトル	「LINE」とは？
	内容	LINE の特徴を紹介する。 10 代の LINE との関わり方の現状を紹介する。
CHAPTER 1	タイトル	LINE の「友だち」＝本当の「友達」？
	ねらい	現実の「友達」づくりと LINE の「友だち」追加の違いを理解し、友達として付き合っていくより良い方法を考える。
CHAPTER 2	タイトル	LINE の「グループ」での付き合い方
	ねらい	① グループトークの利点や問題点を理解する。 ② メンバーのプライバシーを配慮するなど、思いやりのある使い方を考える。
CHAPTER 3	タイトル	事例から考える① ～合唱コンクール～
	ねらい	LINE を使っていないとか、LINE を使っていない時間帯がある友達がいるという状況を把握し、状況に合わせた LINE の使い方を考える。
CHAPTER 4	タイトル	事例から考える② ～いじめ～
	ねらい	この事例でのいじめの構造を理解し、誤った LINE の使い方によるいじめへの関わりの可能性を考える。さらに受け取った情報に対しどのような行動をとったらよいか考える。
CHAPTER 5	タイトル	自分と LINE との付き合い方
	ねらい	① LINE 利用時の My ルールを設定する。 ② LINE を利用する際のマナーを話し合う。
番外編	タイトル	LINE の「友だち」追加機能の紹介
	内容	LINE の「友だち」追加機能のしくみを紹介する。

ただし、このコンテンツを見て、ケータイ・スマホおよび LINE の問題がすべて解決するわけではありません。しかし、スマホ・LINE の問題についてみんなで考える機会になれば、スマホが抱える他の問

題の解決に少しでもつながるのではないのでしょうか。単に学校生活や子供の世界でのトラブルを防ぐ方法を考えるのではなく、これからの情報化社会で必要な情報リテラシーを身につけて欲しいと願っています。

【使い方】

1 学校での使い方

(1) 授業など、教室で生徒と先生が共に視聴する場合

このコンテンツには、中学校の学活や道徳、高等学校の LHR や情報の授業で利用できるように、指導案（授業での展開例）とワークシートを用意してあります。

基本的には、コンテンツを視聴する前に、関係するテーマについて考えをまとめ、コンテンツを視聴して自分の考えやグループで話し合った考えを発表し合います。自分の考えや、発表を聴いた記録はワークシートに記入できます。まとめとして先生がコメントをする、という形式です。先生の発問やまとめの例を指導案に記載しました。もちろん、ご自身で展開をお考えになっても構いません。

また、生徒が視聴し考えたことを保護者に報告（お話し）していただきたいと思います。資料「保護者の皆様へ」は、生徒がコンテンツ視聴後に家庭に持ち帰り、コンテンツの内容や考えた様子を保護者に報告（お話し）をして、保護者が把握・理解していただくために用いてください。家庭でケータイ・スマホ利用のルールを決めていただくための資料でもあります。

(2) 保護者会など、保護者と先生が共に視聴する場合

コンテンツを視聴していただき、生徒の間で起きていること、生徒が困っていることなどを共有していただきたいと思います。保護者の方は、資料「保護者の皆様へ」を家庭に持ち帰り、子供と向き合って家庭でのケータイ・スマホ利用のルールを決めていただきたいと思います。

LINE の友だち追加の制限やブロックの操作もコンテンツにしていますので、保護者の方も、一歩踏み込んで子供と話しができるようになると期待しています。

(3) 教員の研修会など、先生方が視聴する場合

コンテンツ視聴後に生徒の立場でロールプレイをするなど、「ケータイ・スマホがあるのが当たり前」の世代の考え方・感じ方を疑似体験していただけたと思います。

学校内ではケータイ・スマホは持ち込み禁止または電源を切り使用禁止の学校が多いと思います。しかし、校外での生活や卒業後には、多くの生徒がケータイ・スマホを使用します。そのためにも、使用を禁止されていない時間帯や場面で生徒がケータイ・スマホを使用するときに、生徒はどのような心がけで使用するか、また、先生はどのように指導するか、すなわち、情報リテラシーをどのように向上させるのかを考える機会にしていきたいと思います。

2 家庭での使い方（家庭で視聴が可能な場合）

ぜひ、親子で視聴していただき、コンテンツを視聴した後に親子で感想などを話し合う機会を設けていただきたいと思います。話し合いのヒントは、同封した授業用のワークシートを参考にしてください。

また、コンテンツを視聴し話し合いをした後に、資料「保護者の皆様へ」に沿って感想などをまとめ、家庭でのケータイ・スマホ利用の新しいルールを決めていただきたいと思います。

子供だけで視聴する場合は、同封のワークシートに自分の考えを記入しながらコンテンツを視聴してください。コンテンツ全体を視聴した後は、資料「保護者の皆様へ」に沿ってコンテンツ視聴の感想などを保護者に報告（お話し）するとともに、家庭でのケータイ・スマホ利用の新しいルールを決めていただきたいと思います。